

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	海運論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0162			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	外航海運概論 成山堂 日本航海運SHIPPING NOW 日本船主協会						
担当教員	笹谷 敬二						
到達目標							
海運業の現状と内容を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海運業の現状と内容を理解することを目標とし、海上輸送形態及び実際の輸送貨物の取り扱い等基礎的事項を学ぶ。急速に進展する海運業の現状を把握する。						
授業の進め方・方法	板書き、パワーポイントを利用し、学生との質疑応答を出来るだけ取り、理解度を確かめながら講義を進めるように努める。						
注意点	1. 本授業は、船舶職員法養成施設必要履修科目の運用に関する科目における次の項目に対応している。 六 貨物の取扱いおよび積付け (1) 貨物の取扱い、積付け及び保全 (2) 危険物の運送中の管理 2. 授業改善策 板書きを含め、学生との質疑応答を出来るだけ取り、理解度を確かめながら講義を進めるように努める 3. 追認試験 評価が60点に満たない者は願い出により追認試験を受けることが出来る 結果、習得が認められた評価は60点とする 評価基準は本試験と同じとする						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	海運の現状		シラバスの説明 現在の海運の流れの説明		
		2週	近代海運の発展		近代海運の発展を通じて外航海運の現況と海運の特徴を理解		
		3週	船舶及び乗組員		船舶の技術革新及び船内職制の変遷及び労働の変化の理解		
		4週	船舶の調達		船舶の調達及び便宜置籍船の傭船の理解		
		5週	定期船市場		定期船市場の形成、コンテナ化の経緯、コンソーシアムについて理解		
		6週	不定期船市場		不定期船市場の構成とその特色 インダストリアルキャリアリッジについて理解		
		7週	タンカー市場		タンカー市場の公正とそのとくしょくについて理解		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	内航海運について		内航海運の輸送構造について理解		
		10週	同上		同上		
		11週	海運用役取引実務 (1)		海運業界に携わる当事者について理解		
		12週	海運用役取引実務 (2)		運送契約、傭船契約の種類及び書類 等		
		13週	海運用役取引実務 (3)		同上		
		14週	海運企業の経営管理		海運企業の経営組織、労務管理、便宜置籍船の増大について		
		15週	成績評価・確認				
		16週	答案返却 解説 授業 アンケート				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0